

社会資本総合整備計画 中間評価書

計画の名称	北部九州地域における自動車産業等活性化戦略（広域的な物流の効率性向上）											
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	大分県											
計画の目標	<p>北部九州地域においては、平成21年から29年の間に1.3倍と製造品出荷額は増加しており、その主力産業である自動車産業、半導体関連（ ）等の事業活動は、近年成長している。</p> <p>九州北部地域（福岡県、大分県、熊本県）のこの主力産業の事業活動を促進するためには、基盤整備などが必要である。</p> <p>この地域では、北部九州自動車産業アジア先進拠点プロジェクトを戦略的に進めており、この発展に寄与するような広域的な物流結節点（空港・港湾・高速道路IC・貨物ターミナル駅）との相互アクセス性や物流の効率性を高め、北部九州地域における産業経済活動の国際競争力の向上と地域の自立を促進させる。</p> <p>（ 全国に占める割合：自動車生産台数16.8%[H29]、集積回路出荷額30.7%[H27] ）</p>											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,745	A	1,745	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H 2 9	R 4	R 6
1	<p>【福岡県・大分県・熊本県 共通目標】 製造品出荷額等132,787億円(H29)から145,065億円(R6)に増加（12,278億円（9.2%）の増加）</p> <p>【福岡県・大分県・熊本県 共通目標】 製造品出荷額等</p> <p>（九州北部地域内の製造品出荷額等の増加率）=（評価時点の製造品出荷額等 - H29の製造品出荷額等） / （H29製造品出荷額等）</p>	132787億円	141486億円	145065億円
2	<p>大分県内（本計画対象地域のみ）の製造品出荷額等 7,587億円（H29）から8,065億円(R6)に増加（478億円の増加）（6.3%増）</p> <p>大分県内（本計画対象地域のみ）の製造品出荷額等</p> <p>（大分県内の製造品出荷額等の増加率）=（評価時点の製造品出荷額等 - H29の製造品出荷額等） / （H29の製造品出荷額等）</p>	7587億円	7986億円	8065億円

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-001	道路	一般	大分県	直接	大分県	都道府 県道	改築	(主)宇佐本耶馬溪線 江須賀工区	現道拡幅 L=0.92km	宇佐市						1,360	1.4	-
		九州周防灘地域定住自立圏																	
	A11-002	道路	一般	大分県	直接	大分県	都道府 県道	修繕	(一)和気佐野線 和気 ~佐野工区	切削オーバーレイ・舗装打替 L=3.4km	宇佐市						228		-
		九州周防灘地域定住自立圏																	
	A11-003	道路	一般	大分県	直接	大分県	都道府 県道	修繕	(主)中津高田線 順風 新田~松崎工区	切削オーバーレイ L=0.35km	宇佐市						150		-
		九州周防灘地域定住自立圏																	
	A11-004	道路	一般	大分県	直接	大分県	都道府 県道	修繕	(主)中津高田線 順風 新田~長洲工区	防護柵更新 L=0.29km	宇佐市						7		-
		九州周防灘地域定住自立圏																	
												小計					1,745		
												合計					1,745		

中間評価

中間評価の実施体制、実施時期	
中間評価の実施体制	中間評価の実施時期
大分県土木建築部道路建設課にて、中間評価を実施	令和7年2月
	公表の方法
	大分県ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	令和5年3月までに、(主)宇佐本耶馬溪線 江須賀工区の現道拡幅が部分供用したことにより、ICと拠点施設、拠点施設相互間のアクセス性が向上した。 【効果事例】 A11-001：(主)宇佐本耶馬溪線 江須賀工区の現道拡幅により、大分北部中核工業団地からダイハツ九州(株)工場群までのアクセス時間が短縮(整備前：54分、整備後：53分)
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述)	
特記事項(今後の方針等)	
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、自動車産業の製造品出荷額が一時的に減少したが回復傾向にある。また、半導体産業は、半導体の需要拡大により製造品出荷額は増加傾向である。 令和4年5月に策定された「北部九州自動車産業グリーン先進拠点推進構想」のもと、世界に選ばれる電動自動車(EV)の開発・生産拠点の形成に向けた企業誘致や地元企業の電動車分野への参入支援への取組が加速しており、北部九州地域における自動車産業等の活性化が今度とも見込まれる。 事業中の要素事業については、計画期間内に完成又は部分供用するよう事業進捗を図り、広域的な物流結節点との相互アクセス性や物流の効率性を高めることにより、事業効果の発現を目指す。 	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	製造品出荷額等 132,787億円(H29)から141,486億円(R4)に増加（6.5%増）		
	中間 目標値	141486億円	広域的な自動車産業等活性化に向けたルートの整備のほか、令和2年中九州横断道路北側復旧道路の供用、令和4年の東九州自動車道（苅田北九州空港IC～行橋IC）の一部4車線化など、福岡県、熊本県と大分県間の広域的な物流ルートの整備が進捗したことにより、物流結節点との相互アクセス性や物流の効率性が向上し、目標値を上回ることができた。
	中間 実績値	147936億円	
2	県内計画区域の製造品出荷額等 7,587億円(H29)から7,986億円(R4)に増加（5.2%増）		
	中間 目標値	7986億円	広域的な自動車産業等活性化に向けたルートの整備のほか、令和2年中九州横断道路北側復旧道路の供用、令和4年の東九州自動車道（苅田北九州空港IC～行橋IC）の一部4車線化など、福岡県、熊本県と大分県間の広域的な物流ルートの整備が進捗したことにより、物流結節点との相互アクセス性や物流の効率性が向上し、目標値を上回ることができた。
	中間 実績値	9836億円	